



自然豊かな「ほたるの森」

1 ほたるの森とは・・・

- ・20年以上も続いている、前渡小学校のビオトープです。
- ・西暦2000年に、PTA、教員を始めとした地域の方々による奉仕作業で整備し、現在のほたるの森が完成しました。



○ほたるの森→

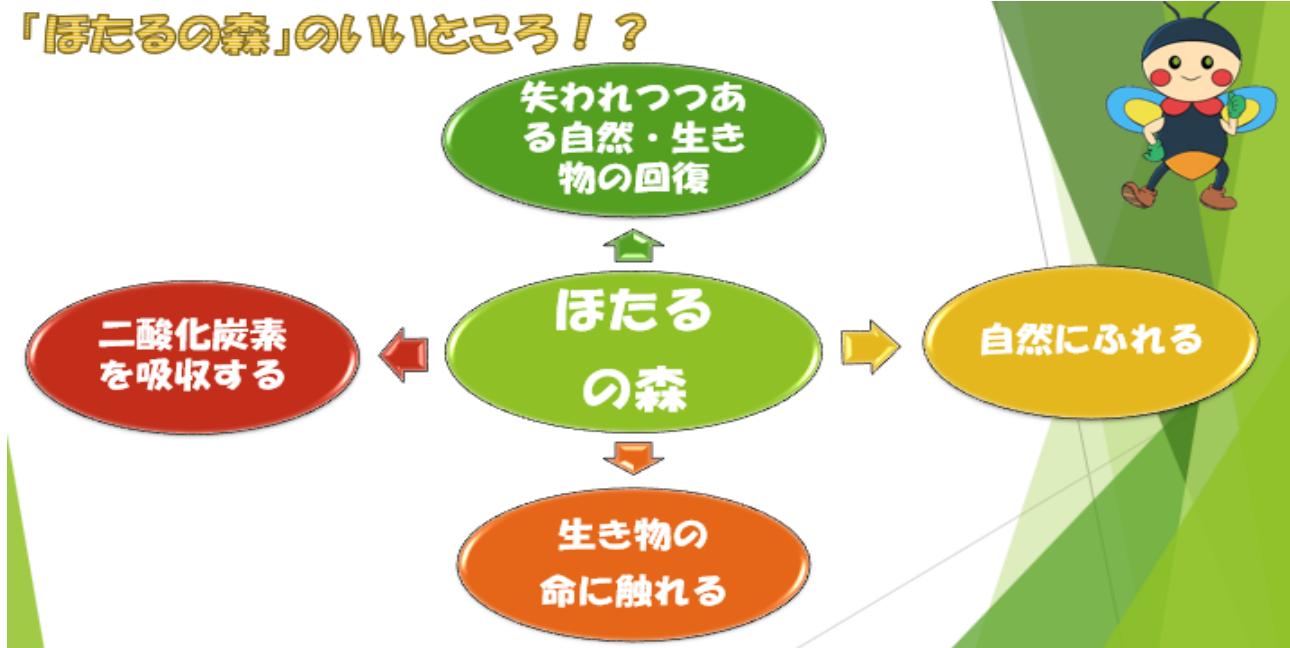
様々な生き物が生息

【ホタル カブトムシ ヤゴ 等】

生き物が棲みやすい環境にするため、生き物を守ったり繁殖したり、害虫駆除をしています。



2 ほたるの森・学校ビオトープの目的など



ほたるの森を整備したことは、植物や昆虫、鳥、そして水生生物などが生息しやすい環境を整えることにつながりました。そのおかげで、本校児童はこの場所で様々な生き物と出会い、多くの気付きと学びを得ることができています。

学校の敷地内に豊かな自然と触れ合える空間があることは、教育環境としてはとても恵まれており、「子ども達がこの自然環境を守ろう、守るために自分たちに何ができるだろう」ということを考えるきっかけ作りにもなっています。

20年以上の歴史を有する学校ビオトープ「ほたるの森」を継続して守り、維持・発展させていくことは身近な地域の環境教育にとどまらず、地球規模での「脱炭素」の必要性について考えさせる出発点にもなります。

今、小学生にできることは、まだ小さなことかもしれませんが、一人ひとりの、そしてみんなの意識を少しずつ変えていくことはできます。これまでの環境教育を脱炭素教育へとつなぎ広げて、まずは前渡小の児童、教職員から意識と行動の変容を図っていくことが目標です。将来的には、地球規模での環境のあり方について考えることができるようになることが、大きな目的です。



3 実際の取り組み

2年生【生活科】 ホタルの幼虫の放流 ゼリガニ釣り

3年生【総合的な学習の時間】 干し芋づくり

4年生【理科】 季節の生物の観察

6年生【総合】 野鳥観察

クラブ【野外観察クラブ】 生息する生き物の観察

等



4 環境教育を通して・・・

- ・子ども達や教職員が、学校以外にも環境問題について考えることができました。
- ・昨年度の「脱炭素チャレンジカップ」や「うちエコ診断」から、車を買替える際、環境に配慮した車を探した教員や、自宅でダンボールコンポストに取り組んでいる教員がいます。
- ・脱炭素社会に向けて各家庭でできる取組の実践を、教員や子どもたちの家庭でも取り組めるよう、環境教育を行っています。

